

テレビを見ていると群馬県の嬭恋村の住民がペットとして飼っていたダチョウが逃げ出したというではないか。ビックリ！

嬭恋村は生まれ育ったところ。だから耳をそばだてた。

村は広い、問題のダチョウの家は浅間山麓にあり、鎌原地区

ここはわが故郷の三原地区の実家より海拔は60から70メートルは高い　およそ800メートルはあるだろう。冬は寒い。

こんなところでペットとして飼うのは可愛そう。群馬にサハリ・パークはあるが、埼玉に近い。だからと言って暖かいわけではない。アフリカの草原が似合う。

11月17日に車の音に驚いて逃げたが、18日に飼い主により無事保護されたとのこと。

群馬サファリパークの話によると一般的に体長2メートル、体重120キロ前後の大きさ。

走るはやさ時速70キロ、50キロなら30分走るといふ。

不用意に近づくと蹴られて大けがをすることもあるといふ。

ダチョウの脱走 21/12/7 Hidekuro



標高千メートルの暮らしは厳しい

長沼原から小学、中学校への通学路が一部であるが整備され、そこは車道を通らずにいけるようになった。そこ以外は車道を通る以前と同様、いつも行く病院まではできたての歩道が続く。

先日はこの歩道を使わせてもらった。かみさんの押す「旅車」：（車椅子）とおもえばいい。家からスタートし、大部分の距離を「旅車」のお世話になるのであるが、これまでの歩道は車道と同様谷底の交差点から右も左も上り坂になっている。

新しくできた歩道は平坦で歩きやすい。歩道の終わりの車道を渡ればそこが病院。

雪印種苗の敷地に昔は市道があり、これでは企業秘密が保てないなどの理由で市道を外に出したいなど市と合意した結果歩道ができたと聞いている。

雪印種苗という会社の敷地ほとんどは耕作地で作物を受託により試験・研究しているらしい。以前は不発弾が発見されこの始末に市、県、国の3者が右往左往したらしい。

以前は雪印種苗の市道を散歩すると田舎にきたような田園風景が広がり気持ちのいいものだったが、田園風景を満喫はかなわない。

通学路 21/12/13 Hidekuro